



MGU Chapel Letter

—第 41 号 2024 年 9 月 13 日— 発行：大学宗教センター



* 2024 年度 年間聖句 *

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書 第 7 章 12 節



後期の礼拝は 9 月 20 日 (金) から！！

9 月の大学礼拝スケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

- ・ 9 月 20 日 (金) 佐々木 哲夫 (学院長・宗教総主事)
- ~~~~ 9 月 23 日 (月) 振替休日 ~~~~
- ・ 9 月 25 日 (水) 松本 周 (一般教育部准教授)
- ・ 9 月 27 日 (金) 栗原 健 (大学宗教センター長)
- ・ 9 月 30 日 (月) 平賀 真理子 (学院宗教主事)

後期の礼拝は 1 月 15 日 (水) まで合計 34 回行われます。

12 月 17 日 (火) には大学クリスマス礼拝も持たれます。

ぜひご出席下さい。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp

✦ 本当の「自立」って？ ✦



暑かった夏が終わり、後期の授業が始まりました。

後期は、学生にとっても教員にとっても難しい面があります。涼しくなって学びやすくなったことは良いのですが、日照時間が短くなって寒くなると、心も体も影響を受けやすくなるからです。冬枯れた寂しい風景を見ているうちに気持ちが暗くなり、うつになって学校に行きにくくなってしまうこともあります。

こうした時には、誰かに悩みを話すことができれば一番です。「相談したら、相手に迷惑になるかも知れない」と思ってしまう人が多いですが、そんなことはありません。私たちが友人に相談事をされた時、「迷惑だ」と感じたでしょうか。かえって、「信頼してもらえて、うれしいな」「自分も、相手の役に立てるかも知れない」と、心があたたかくなったと思います。人間はそのように、互いに助け合えることを喜ぶように出来ているのです。そもそも、「人に迷惑をかけてはいけない」という言葉は、「困った時はおたがいさま」とセットでないと成り立たないものですね。

「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう」（創世記2章18節）、「互いに重荷を担いなさい」（ガラテヤの信徒への手紙6章2節）とあるように、聖書は、人間が互いに支え合って生きて行く存在であることを繰り返し示しています。一人で全てを抱えることはできない。これが人間の大前提です。

「でも、私は一人で生きられる『自立』した人間にならなくては」と思うかも知れませんが、ここで注意が必要です。自立とは、単に経済的に自活したり、家族の手を借りずに独り暮らしができるということではありません。大阪・釜ヶ崎で子どもたちをサポートして来た荘保共子さんは、自立の意味について、「お金があれば一人で生きていけるわけではありません。倒れても立ちあがれるような関係性、つながりがあって、はじめて自立して生きていけるのです」と述べています。支え合える人がいること、「助けて」と言える力があることこそ、本当の意味での自立だということですね。

これらのことをおぼえて、学校生活で苦しいことが起きて来た時には、深刻な状態になる前に早めに周りの人に相談しましょう。学生相談室などにも、ちゅうちょせずにコンタクトして下さい。そうした体験も、社会の学びの1つになります。（栗）